

2024年2月11日
日本語用論学会拡大常任委員会

日本語用論学会第26回大会（2023年12月9日～10日）大会発表賞の受賞者決定

受賞者

梁勝奎氏（名古屋大学大学院人文学研究科 博士後期課程）

研究発表

「依頼の合理性を主張する試み：発話を引用するやり方の事例から」

受賞理由

本発表は、他者による過去の発言の引用を通じて依頼の合理性が示されることを、事例分析を通じて述べたものである。「依頼」という発話行為は、ポライトネスの観点から論じられることが多い中で、会話分析の手法を用いて間接依頼表現を扱っている点に独創性がある。また、「依頼の合理性」という難しい現象にマルチモーダルからの分析で証明しようとする姿勢は高く評価できる。他にも、発表において、研究が解明しようとしている要点や各事例についての説明が非常に明快だった、導入部分の例示から自分の言葉で言い換える姿勢が好印象だったなどと評価する声が聞かれた。さらに、トランスクリプトへの動画の埋め込み、スライドの作り方・使い方など発表資料に多彩な工夫が見られた、発表から質疑応答に至るまで終始堂々としていた、明瞭でとても聞きやすかったとの高評価を受けた。併せて、当該受賞者は、研究の意義や成果を念頭に、聴衆からの質疑に対してご自身の考察を深めた議論を展開させており、その点が研究発表者の中で際立っていた。

以上の理由により、梁勝奎氏を本学会第26回大会の大会発表賞の受賞者に決定する。

日本語用論学会 会長 滝浦真人
大会発表委員長 西田光一
大会発表賞小委員会委員長 竹田らら